

学校保健委員会だより

H30.2.16

2月8日、平成29年度学校保健委員会を開催いたしました。学校歯科医・学校薬剤師・PTA会長さんにご出席いただき（学校医は当日体調不良で急遽欠席）、健康課題についての意見交換を行いました。

<今回のテーマ>

- ①「親知らず」の情報
- ②「生と性の講演会」実施報告
- ③「デートDV防止講座」実施報告
- ④「薬物乱用防止講話・防犯教室、Self Defense 教室」実施報告
- ⑤スクールカウンセリング事業の実施報告

<出席者>

学校歯科医、学校薬剤師、PTA 会長、校長、教頭、事務長、主幹教諭、総務部長、教務部長、生徒指導部長、学年主任、保健安全部長、保健安全部員、養護教諭

①「親知らず」情報（学校歯科医：服部Dr）－資料参照

- ・最近、高校生で親知らずの治療に来る子が増えてきている。テストや勉強で時間を削り、生活習慣が乱れ、歯磨きとかが疎かになり、口腔内で細菌感染を引き起こし、そこから歯の炎症に結びついていると思われる。ストレスも炎症の一因にあるかも知れない。
- ・現代の子どもには、親知らずと言われる歯が元々無い子がいる。自分は、それは進化と捉えている。
- ・親知らずに痛みを感じたら、薬だけでは治らないので、自己判断せず歯科医受診して欲しい。歯科医で炎症の治療をするか抜くかを判断することになる。知覚麻痺などの後遺症が起きる場合もあるため、全てを抜くわけではないし、自分の所では基本的に抜くことを勧めていない。ただし、症状があったり、他の歯に悪影響がある場合は抜くこともある。抜く場合は、高校生ぐらいでは、まだ骨が柔らかいので10分くらいで抜ける。歯が埋没しているなど状態が悪いときは全身麻酔で抜く場合もあり、その時は溪仁会等を紹介する。
- ・インフルエンザ予防には、歯磨きが有効だということが、科学的に証明されている。
- *質問：最近顎が小さくなっていると言われるが、顎の発達と親知らずは関係するの？
→Dr.回答：親知らずが先天的に無いから顎が小さくなっているのではない。そもそも親知らずは、あっても無くてもいい歯である。
- *質問：抜く場合、上と下では抜きやすさに違いはあるの？
→Dr.回答：上の方が抜きやすいのではない。自分はそうである。年を取ってから抜くのは、骨が硬いので大変かも知れない。親知らずのことを生徒に言うと不安がるので、あまり大げさに言わない方がいいと思う。
- *Dr.から質問：稲雲生で自分の所に来ている子たちは、歯がピカピカできれいである。定期的にも通っている。学校で歯磨きしている生徒はいるのか？
→回答一吹奏楽の生徒は、昼食後、毎日歯磨きをしている。
一今年度初の試みで「治療勧告書」を出した。今現在、治療を受けたという「報告書」を提出した生徒は25名。来年度も継続して、早期治療を指導していきたい。

③「生と性の講演会」実施報告（山崎 PTA 会長・竹本1学年主任）

- ・今回2回目の実施で、昨年の1年生は、何をやるのだろうという興味を持った雰囲気があったが、今年の1年生は、最初、特に男子に、自分たちには関係ないといった聞く気がない感じがした。
- ・しかし、講演の途中から、そのように感じた男子たちも真剣に聞き始めた様子が見られ、話の内容から、自分のことじゃなくても友だちのことを心配したりとか、身近に感じられたのではないと思う。
- ・親と子で、性のことを話すことはなかなか出来ない。小さいときから話し合っている土壌があれば別だが、高校生になってから急に話し出すことは無理。先生方も話しにくい事だと思うので、こういう専門家からの話を聞くことは子どもたちの実になる。
- ・今回、昨年より保護者の参加が多かったので、来年も続けて、保護者の方が話を聞きに来てくれればと思っている。
- ・高校生には、その時その時に、ちょっとした一言を掛けると悩みを相談しやすいのではと思うので、このような専門家からの話の機会が必要だと思う。継続的に続けられるように、PTAとしても今後も後押し協力活動をしていきたい。

（裏面に続く）

(表面の続き)

- ・講師の安藤先生が話し上手なので、生徒も次第に引き込まれていったようだ。
- ・実は、講演終了後すぐに「悩み相談」があり、こちらもすぐに働きかけ対応し、問題の未然防止に繋がった件があった。他にも何件か対応できたものもあり、この講演がきっかけとなったことは間違いなく、生徒のためにも有効なものだと思う。

④「デートDV防止講座」実施報告（鈴木2学年主任）

- ・昨年度の「生と性の講演会」を受け、今年度初めての試みとして実施した。
- ・講座前、半分以上の生徒はデートDVの内容を知らなかった。交際中の者たちも、相手の行動を制限することが、暴力的な行為、デートDVだとは知らなかったと思う。
- ・講座後のアンケートで「理解できた」が96%に上り、これは講座時の演劇部の活躍が効果大だったと思う。
- ・実態調査でも、実際に暴力的な交際が1割強あり、そういう交際をしていた生徒がその後交際を解消した話しも聞いているので、このような講座は一定の効果はあると思う。

⑤「薬物乱用防止講話・防犯教室、Self Defense 教室」実施報告（助川生徒指導部長・湯澤保健安全部長）

- ・やり方を例年と変えた。薬物の講話と防犯の話しをコンパクトに収める形で実施した。要点が整理されてよかったのではないかなと思う。
- ・稲雲の生徒は自ら薬物を行うことはないと思うが、騙されて薬に手を出してしまうことは考えられるので、警察の方の話しを聞いて回避することを学び、撲滅して欲しいと思う。
- ・防犯教室で、数名の生徒しか実演は出来なかったが、寒くなっても変質者は出ているので、女生徒が対処法を知っておくことは大事なことだと思う。
- ・女生徒だけを残して、養護教諭の説明と福岡警察作成のDVDを見せて、自己防衛の教室を行った。
- ・感想にもあるように、SNSの書き込みや帰り道でのイヤホンの装着は普段何気なくしている行為で、その行為は危険であると理解できたと思う。

⑥スクールカウンセリング事業の実施報告（堀川養護教諭）

- ・昨年度の学校保健委員会で、PTAからのSC事業への助成の事が話に出て、今年度から実際に助成していただいている。そのおかげで、安心してカウンセリングが必要な生徒に対応できている。
- ・今年度は、保護者からの希望が多かった（保護者本人の面談及び保護者の希望で生徒本人の面談）。保護者にもSC事業が浸透してきたことが実感できた一年だった。
- ・今後の課題として、教育相談と特別支援のバランスを取っていくことと、予防的な視点からの活動が必要だと感じている。

□ 出席者の感想

- ・今まで中学校で学校薬剤師をやっていたが、高校は初めての経験で、いろいろと活発な活動をされていることが分かり、勉強させていただいています。
- ・歯磨きの大切さが改めて分かりました。生活習慣と直結していることも認識しました。
- ・SC事業は、発達障害や不登校に早めに関わっていただき、しっかりとした取り組みになっている。
- ・外部の方が関わっていただくことで充実したものとなっている。薬剤師の先生のお話もお聞きしたい。
- ・これらいろいろな活動が、生徒の成長を促し、生徒を守るために必要なことで、意味のあるものだと思う。
- ・この学校保健委員会は、専門の先生の話をお聴ける貴重な機会。今後も続けて欲しい。
- ・この学校保健委員会の開催にあたり、今年実施した事業をまとめていく中で、課題が見えてくる。次年度に活かして行きたい。

□ 校長より

本校は、PTAの協力が大きな学校で、今日報告された様々な活動はPTAの協力無くては成り立たないものである。生徒の健全育成のために、正しい情報提供の機会は大変なことであり、今後も生徒が健康安全に過ごせるよう皆で活動して行きたい。